

高知市コミュニティ計画

まがぶしぎ
摩訶不思議な
江ノ口

2025-2029

江ノ口連携協議会(愛称:江ノ口plus)



目次

はじめに

あいさつ	2
第1期江ノ口地域コミュニティ計画	4
江ノ口連携協議会の概要説明	4

地域の情報

江ノ口小学校区の範囲	6
江ノ口小学校区にある社会資源	7
愛宕通りマップ	8
愛宕商店街の紹介	9

計画本編

将来像・基本目標	12
計画のスケジュール	13
取組内容	14

資料編

高知市コミュニティ計画	22
計画策定の経過	25
地域の現状・アンケート調査結果	26

おわりに

参画者紹介	34
地域の活動紹介	36
あとがき	38



はじめに

文化と歴史の継承

～第1期江ノ口地域コミュニティ計画策定に当たって～

私がこの江ノ口地域へ転入して早20年が経過しました。
PTA活動から始まり徐々に地域に溶け込んだ20年でもありました。

最初に感じた江ノ口地域は各組織が独立しており組織同士が協力して事業を成し遂げる、そして、人情、協調性、歴史と伝統が有り、どこもかしこも昭和の匂いでいっぱいという印象でした。

私たちの地域は比較的市の中心部に近く、江ノ口保育園・あたご幼稚園・高知聖園マリア園・江ノ口小学校・愛宕中学校・愛宕商店街があり、転勤族の流入等により人口減少は比較的抑えられています。

江ノ口小学校は、創立152年目を迎え「歴史と伝統」を誇り、寺田寅彦氏や山本寛斎氏が在学していた時期もあります。特に寅彦氏の「天災は忘れられたる頃来る」という言葉は有名です。そんな伝統ある江ノ口小学校も全国的な少子化の影響を受け、昭和30年代頃には2,000人以上の児童が在籍しておりましたが、現在は僅か180人でございます。

愛宕商店街の昭和6年から続いている金曜日市も現在は愛宕町広場内（高架下）で開かれておりますが、出店者の高齢化、来店者数の減少で存続の危機を迎えています。

地域の目玉活動もPTA主催の江ノ口まつり、防災連合会主催の防災活動、体育会主催の区民運動会、民生委員の方々のあいさつ運動、見守り活動など充実しておりますが、高齢化は避けようがなく、その他の地域の奉仕活動につきましてもマンパワー不足感は否めません。

江ノ口連携協議会の発足も令和2年と歴史は浅く、会員も主に組織の長を充てており、事業の方も各組織に委ねている状況です。

令和元年～20年は明治維新の変革に匹敵するかそれ以上のことが起きるかもしれないと言うような人もおりましたが、今日の政治状況、大手メディアの衰退、少子高齢化などによる社会奉仕に携わる人口の減少などそのスピードについていけないのが現状であります。



今回の計画策定には、会員や事業への参加人数の拡大を目指した声かけ（あいさつ）運動の実施や、愛宕商店街とタイアップなどを盛り込んでおりますので、今後の地域活動の継続と地域のシンボルとして発展を期待しています。

初代会長高橋尚良氏が口癖のように言っていた「無理をしないで、ゆっくり行きましょう」その言葉と笑顔を思い出しながら活動に励んでいきたいと思っております。

江ノ口連携協議会（愛称：江ノ口plus）会長 門 田 浩 人

地域と行政の協働

～第Ⅰ期江ノ口地域コミュニティ計画策定に当たって～

この度、市民と行政の協働により「摩訶不思議(まかふしぎ)な江ノ口」と、ユーモアたっぷりの将来像を設定した「第Ⅰ期江ノ口地域コミュニティ計画(以下、「第Ⅰ期計画」)」を地域の皆様と一緒に策定いたしました。策定に当たりまして、ご尽力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

本市では、各地域内連携協議会においてそれぞれの活動の実行性を担保し、計画的に取り組み、将来にわたって持続的なまちづくりを行っていく指針として、新しい「コミュニティ計画」の策定を推進しております。

江ノ口地域においては、江ノ口連携協議会(愛称:江ノ口plus)が中心となり、令和5年12月のアンケート調査を始めとして、令和6年4月から本格的に第Ⅰ期計画の策定に取り組んできました。

第Ⅰ期計画の策定に当たっては、地域の皆様の意見を反映するためアンケート調査を行い、その後、住民の皆様が中心となり策定会議を開催し、楽しみながら計画の策定に取り組まれました。多くの地域活動団体や町内会長の皆様と一緒に、地域の将来を検討することで、より一層地域の絆が深まったことと思います。

この第Ⅰ期計画では、6つの基本目標を軸とし、既存の活動を次世代に繋いでいくことを念頭に置いた取組や地域の社会資源を活かした取組など、多岐にわたる事業が盛り込まれています。特に、地域のシンボルである愛宕商店街の活動を皆で盛り上げていこうとする取組は、江ノ口地域ならではの取組と言えます。

また、江ノ口plusが中心となり、地域内の各種団体の交流の場を設けて、地域全体が盛り上がっていきえるように応援していくことも計画されており、江ノ口地域の皆様が楽しんで、これからのまちづくりに取り組んでいける活動計画となっています。

本市といたしましても、第Ⅰ期計画の実現に向けて、地域の皆様の声をしっかりと心に受けとめて、皆様と共に力を合わせて取り組んでまいります。

江ノ口地域の皆様に本計画をご覧いただき、多くの方々が江ノ口地域のまちづくり活動にご参加いただけますよう、心から願っております。



高知市長 桑名龍吾

第1期江ノロ地域コミュニティ計画

第1期江ノロ地域コミュニティ計画

本計画はおおむね5年後を見据え、今後江ノロ小学校区（以下 江ノロ地域）が目指すべき未来や、地域と行政の取組等を示した、地域の想いが込められた計画です。以前のコミュニティ計画（以下 旧コミュニティ計画）から長期間が経過したことや社会情勢の変化、地域の現状等を踏まえ、新たなコミュニティ計画を策定しました。

策定に当たり、地域の各種団体や各町内会の会長（代表）、小学校、小学校PTA、保育園等様々な方が参加し、江ノロ地域の今後について一緒に考えました。

本計画を、江ノロ地域における今後5年間の地域活動の指針として、江ノロ連携協議会（愛称：江ノロplus）を中心に、地域のみんで取り組んでいきます。



計画の概要

- (1) 計画期間は「おおむね5年間」で策定・推進
- (2) 策定・推進の主体は「江ノロ連携協議会」
- (3) 登載事業は「住民主体で取り組めるソフト事業」

計画の推進

- (1) 毎年、計画の進捗状況を報告
- (2) 年度初めに取組事業（優先順位等）を確認
- (3) 年度末に取組事業の達成状況の確認

江ノロ連携協議会の概要説明

地域内連携協議会とは、おおむね小学校区を範囲に、地域内で活動する個人・団体・事業者などがゆるやかにつながり、地域内の現状や課題を共有し、課題の解決に向けて連携・協力していくための「地域連携のプラットフォーム（基盤）」となる組織のことです。

江ノロ地域では、令和2年10月19日（認定年月日 令和2年10月29日）に江ノロ連携協議会（愛称：江ノロplus）として連携協議会が設立しました。

設立に当たっては、地区町内会連合会や防災連合会、PTA、交通安全会議、開かれた学校づくり推進委員会、体育会、青少年育成協議会、小学校、保育園、幼稚園など多くの団体の方が準備会に参画しました。

江ノロ連携協議会の会員数は11団体程度で、江ノロ小学校を活動の拠点としています。



江ノロ連携協議会
ホームページ



地域内連携協議会イメージ

Enokuchi

Enoku

Enokuchi

Enokuchi

地域の情報

Enokuchi

Enok

Enokuchi

Enokuchi

江ノ口小学校区の範囲

江ノ口小学校区の範囲

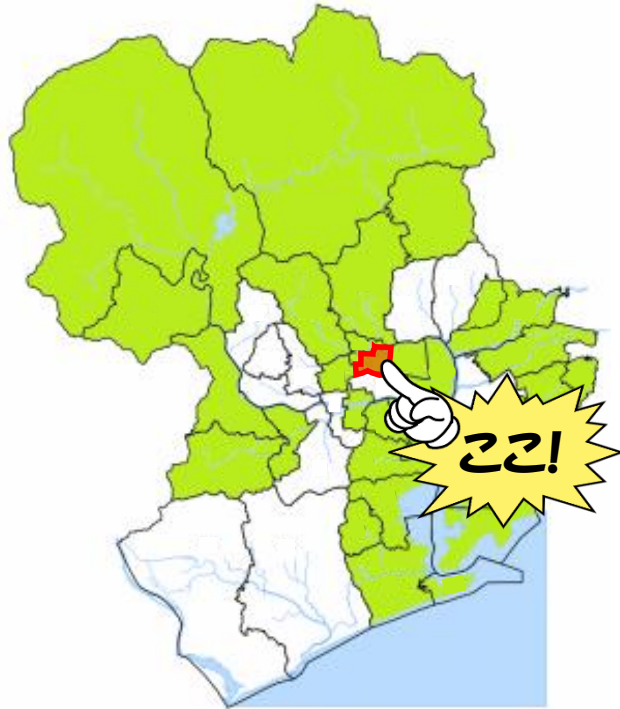
江ノ口小学校区の範囲は、南北に最大1.0km、東西に最大1.4kmであり、校区をJR土讃線が東西に横切っています。

地形は平坦で、標高は0～3m程度と低くなっており、校区の北側を久万川が、南側を江ノ口川が流れています。

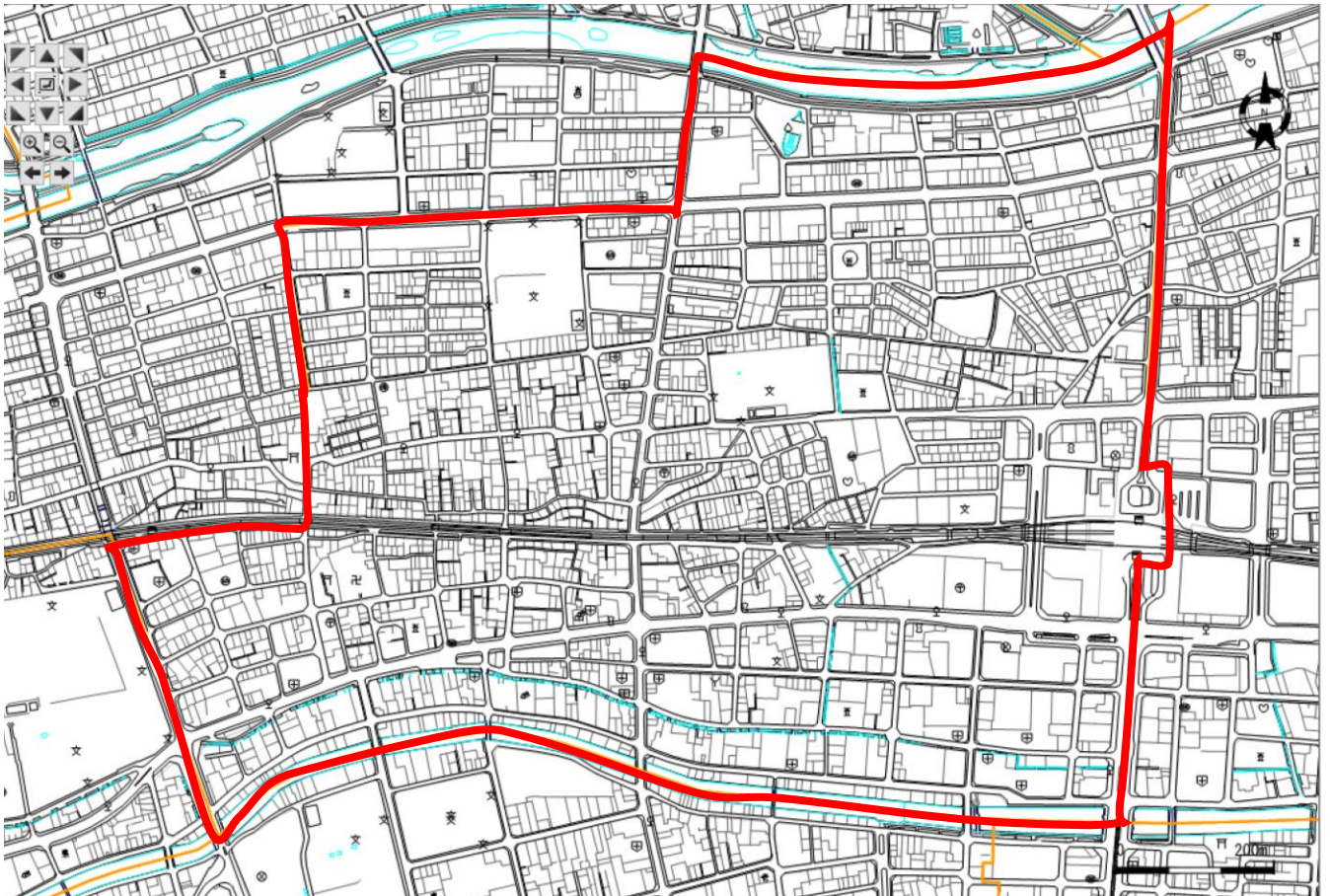
校区周辺の高台としては、いずれも校区外であるが、南西には高知城、久万川を越えた北側には愛宕山があり、江ノ口小学校から高知城までは約1.1km、愛宕山までは約0.9kmの直線距離があります。

校区の平地は、河川の堆積作用によって形成された低地（氾濫平野）に盛土をして形成されています。

また、高知駅や高知警察署なども校区内にあり、インフラ整備や安全が強みの地区となっています。



▼江ノ口小学校区域の地図



江ノ口小学校区にある社会資源

江ノ口小学校区にある社会資源（一部抜粋）

【保育・教育】

	数	名称
保育園	2	江ノ口保育園、高知聖園マリア園
幼稚園	1	あたご幼稚園
小学校	1	江ノ口小学校
中学校	1	愛宕中学校
高等学校	2	太平洋学園、学校法人龍馬学園
専門学校	3	近森病院附属看護学校、龍馬看護ふくし専門学校、高知情報ビジネス&フード専門学校

【医療関係】

	数	名称
病院	7	近森病院、岡村病院、木村病院、愛宕病院、高橋病院、近森リハビリテーション病院、愛幸病院
診療所	14	駅前クリニック、高島整形外科内科、さかもと眼科、依光内科クリニック、瀬戸内科、くすのせ形成外科、やまと診療所高知、吉川内科消化器科、福井診療所、純クリニック、カジハラ耳鼻咽喉科、三宮心療クリニック、やまもと皮膚科クリニック、高松内科クリニック
歯科診療所	11	いりあげ歯科クリニック、岡林歯科医院、岡林歯科、長野歯科、あたご歯科、公文歯科、吉川歯科医院、高知駅つちもと歯科、坂本歯科、田内歯科、岸歯科
薬局	15	アイン薬局、しのはら薬局入明店、あとむ薬局、つちばし薬局あたご店、稲本薬局、サンタ薬局、ブルークロス薬局江ノ口、ベル薬局、とまと薬局、あたご薬局、あおぞら薬局、くろしお薬局駅前店、アザレ薬局、はるかぜ薬局、グリーンハーツ薬局

【社会福祉施設】

	数	名称
包括支援センター	1	南街・北街・江ノ口地域包括支援センター
障がい者施設 (特定相談支援事業所)	2	障害児相談支援事業所高知ふれんど、相談支援事業所
障がい者施設 (障害福祉サービス事業所)	7	アイビー就労継続支援B型（スウェル、さんかく広場） 就労継続支援A型（オウんパス、おひさまキッズ） 通所・放課後デイ（おひさまキッズ、もりもりの森メ ディパーク高知、児童発達支援センターしんぼんまち）
児童養護施設	2	高知聖園天使園、高知聖園ベビーホーム

愛宕通りマップ

食べ歩きできるよ 飲めるよ 愛宕通り

食べてよし！飲んでよし！集まってよし！
 良いところづくしの愛宕通り！ぜひ、足を運んでみてください！
 新しい出会いや発見がたくさんあるかも！！



焼き鳥もお魚も
 なんでもそろった愛宕通り
 街にも近く超便利！

マップには載っていない
 隠れた名店がまだまだたくさん！



アイランドは
 商店街振興組合会長のお店！

JR土讃線



※ 本マップは地元住民が手書きで作成したものであり、愛宕通り全てのお店や施設を掲載したものではありません。

愛宕商店街の紹介

江ノ口のシンボル「愛宕商店街」

愛宕商店街は、JR 高知駅からほど近い、南北に伸びる長い商店街です。

その長い商店街には、「地元の人たちに親しまれる老店舗」から「若者から親しまれるお洒落なお店」まで様々な個性を持った店舗が軒を並べています。

時代の新旧が【あたごまち】のネオン看板の下で自然に調和している素敵な商店街です。



いち推しポイント

新しい建物が増築されている中でも、昔ながらの商店街の趣きが残った「愛宕商店街」のシンボルと言えば、やはり【あたごまち】のネオン看板です。

特に気持ちよく晴れた日に、商店街を1丁目から北上すると、青い空と高知の山並みを背景に【あたごまち】の看板が連なる商店街の風景は趣があり、レトロを感じられます。



Enokuchi

Enoku



Enokuchi



Enokuchi



Enokuchi

計画本編

En

chi



Enokuchi



Enok

Enokuchi



Enokuchi

将来像

摩訶不思議な 江ノ口

江ノ口地域には、明るく前向きな人や謙虚でまじめな人、楽しい愉快な人など、様々な人がたくさん住んでいて、生まれも育ちも生い立ちも違うけれど、地域のことになれば不思議なことにまとまっている。その「不思議さが良い」という想いをこめた将来像です。

いつまでも、様々なヒト・モノ・コトが共存し、不思議と自然にまとまっていたいという未来への想いも込められています。

基本目標

1

すてきな出会いの入り口江ノ口

2

みんなが知り合いて仲良しなまち

3

多世代交流が活発なまち

4

みんなが安心安全なまち

5

学びを深め続けるまち

6

わくわく楽しい愛宕商店街

計画のスケジュール

計画のスケジュール

本計画は以下の優先順位で推進していく予定です。

基本目標	2025	2026	2027	2028	2029
1 すてきな出会いの 入り口江ノロ	01 「あいさつ通り」の普及				
	02 地域団体の体験入会				
	03 各種団体間のノウハウ等の共有及び交流				
2 みんなが知り合い で仲良しなまち	01 既存事業を掛け合わせて開催				
	02 地域活動紹介パンフレットの作成				
	03 既存の活動に協力				
3 多世代交流が 活発なまち	01 多世代交流イベントの開催				
	02 学校や保育園とのコラボ事業の検討				
	03 NEWラジオ体操の考案				
4 みんなが 安心安全なまち	01 防災に関するイベントの継続				
	02	02	02	02	02
5 学びを 深め続けるまち	01 様々な勉強会の開催				
	02 ホームページの有効活用				
6 わくわく楽しい 愛宕商店街	01 商店街のフロント化				
	02 愛宕商店街のマップづくり				
	03 金曜日と商店街の活動を盛り上げる				

取組内容については、次のページから掲載しています。



1

すてきな出会いの入り口江ノ口

アンケート調査や策定会議でみえたこと

地域の魅力・課題アンケートでは「あいさつ」を魅力と感じている人が多く、地域の魅力の項目では「あいさつ」が全体（15項目）の第3位という結果でした。

策定会議では「あいさつが出会いの入り口」という意見に始まり「会うたびに声をかけ合い、つながりを深く感じる。」「一人ひとりの工夫でつながりが生まれている。」というような前向きな意見がたくさん出ました。

前向きな意見を参考に、あいさつから出会いを広げ、地域活動団体に関わってもらうことで、新しい担い手の発見につなげていきたいと思えます。また、各団体同士の交流も深め、ノウハウなどを共有し合う場を作り、持続可能で出会いの機会の多い地域にしたいと思えます。

取組内容

01 ▶ 「あいさつ通り」の普及

- ・ 「あいさつ通り」のステッカーなどの広報物を作成する。
- ・ あいさつができるまちを目指して、あいさつ運動を普及する。

02 ▶ 地域団体の体験入会

- ・ 地域のイベントに協力してくれる人を会議やほかのイベントにも誘う。
- ・ 各種団体の会議や活動に1日体験入会してもらう。


03 ▶ 各種団体間のノウハウ等の共有及び交流

- ・ ほおっちょけんネットワーク会議に参加し、地域と企業や専門職のつながりを強化する。
- ・ 地域活動に活かせるノウハウや知識・技能を深める講演会や交流会を開催する。

行政等のサポート


あいさつ運動の普及に係る支援について

各学校が取り組んでいる児童会活動や生徒会活動等でのあいさつ運動に係る取組について、学校からの要請に応じて好事例を発信するなどの支援を行います。

 高知市教育委員会学校教育課 088-823-9479

情報やノウハウについて学ぶ講演会に係る支援について

市民の生涯学習活動を支援するため、教育、文化、芸能又は趣味、スポーツ・レクリエーション等様々な分野における人材をあらかじめ高知市生涯学習人材バンクに登録し、地域活動やサークル活動など、ニーズに応じて活用いただいています。

 高知市文化振興課 088-821-9215

2

みんなが知り合いで仲良しなまち

アンケート調査や策定会議でみえたこと

どんな地域になってほしいかというアンケートでも「つながり・支え合いのあるまち」が全体の第1位であり、地域内のつながりを大切にしたい地域ということが分かりました。また、地域活動の認知度や参加度のアンケートでは「区民運動会」「江ノ口まつり」が1位、2位を占めており、続いて「いきいき百歳体操」「避難訓練」という順位でした。

策定会議では、既存活動を活かした取組を検討することで担い手の負担軽減や参加者の増加を図る意見がたくさん出ました。

地域のみながつながるためにも、より多くの人に地域活動団体を知ってもらうための「活動の周知」に力を入れていきたいと思えます。

取組内容

01 ▶ 既存事業を掛け合わせて開催

- ・ 区民運動会と防災を掛け合わせた区民防災運動会を開催する。
- ・ 江ノ口まつりでカラオケ大会を取り入れる。
- ・ 地区社会福祉協議会のイベントに積極的に関わる。

02 ▶ 地域活動紹介パンフレットの作成

- ・ 江ノ口地域の地域活動団体の活動紹介パンフレットを作成し地域で配布する。

03 ▶ 既存の活動に協力

- ・ 既存の活動に積極的に協力する。

行政等のサポート

地区社会福祉協議会が主催するイベントへの支援について

地域福祉コーディネーターが地区社会福祉協議会の活動支援を行っています。

財政的支援としては「地域活動助成金」が、地区社会福祉協議会が行う地域福祉活動に活用可能となっています。



高知市社会福祉協議会 地域協働課 088-823-9515

パンフレットの作成及び印刷に係る支援について

地域内連携協議会に対する地域行事への財政的支援では、予算内であれば広報物の印刷製本にかかる費用も対象となります。



高知市地域コミュニティ推進課 088-823-9080

3

多世代交流が活発なまち

アンケート調査や策定会議でみえたこと

地域のつながりアンケートの自由記述では「組織間である程度交流はあるが、世代間格差が広がっている。」というような意見もあり、多世代の交流する機会が少ないという意見が一定数あることが分かりました。

策定会議では個人情報保護意識や権利意識の関係から、なかなか交流することができないという悩みも出ています。

そのため、多世代が集うきっかけづくりとして、新規事業を検討したり、地域でのボランティア活動を頑張りたいと思う学生たちとのコラボなどに取り組んでいきたいと思っています。また、どの世代も重要視する「健康」に目を向けて活動することで、多世代交流のハードルを低くしていきたいと思っています。

取組内容

01 ▶ 多世代交流イベントの開催

- ・ 大人の修学旅行と子どもの修学旅行を同日開催する。
- ・ 学校の事業として地域と学校が共催できる行事を検討する。
- ・ 江ノ口地域にお住まいの外国人の方との国際交流を積極的に行う。

02 ▶ 学校や保育園とのコラボ事業の検討

- ・ 中・高等学校及び専門学校のボランティア活動とのコラボを検討する。
- ・ 小学校や保育園、幼稚園と共催イベントを行う。


03 ▶ NEWラジオ体操の考案

- ・ 江ノ口地域ならではの体操を検討する。

行政等のサポート


多世代交流イベント等の開催について

多世代交流イベントの企画・ボランティア等学校と協働した活動については地域福祉コーディネーターがお手伝いさせていただきます。

 高知市社会福祉協議会 地域協働課 088-823-9515

地域と学校が共催で開催する事業に係る支援について

地域学校協働本部事業では、地域学校協働活動推進員への報償費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費を配当し、地域ボランティアに対して傷害賠償保険を掛けています。

 高知市教育委員会学校教育課 088-823-9479



4

みんなが安心安全なまち

アンケート調査や策定会議でみえたこと

地域の魅力・課題アンケートでは「交通安全」が課題の第1位となっている一方で、自由記述では「日々の交通安全の取組が意識向上につながっている。」などの高い評価を得ており、交通量の多い地区であるからこそその意識の高さが伝わる結果となりました。また、暴力等の排除実績が多数あり、地区の団結力が強く、安全意識の高い地区であることが分かりました。

併せて、防災の定期的な訓練なども実施していることから、既存の取組を継続しつつ、さらに活動を活性化させるために取り組んでいきたいと思えます。

取組内容

01 ▶ 防災に関するイベントの継続

- ・ 小学校の防災学習とコラボして防災に関わる事業を開催する。
- ・ 中学校の生徒に防災訓練などの企画から関わってもらう。


02 ▶ 地区の安全についての講演会の開催

- ・ 暴力排除の実績の歴史について学ぶ講演会を開催する。
- ・ 校区交通安全会議と協働し、交通安全についての学習会を開催する。
- ・ 町内会の活動について学ぶ講演会や交流会を開催する。

行政等のサポート


小中学校とコラボして開催する防災イベントに係る支援について

高知市地域防災推進課には各小学校区ごとに担当の職員がおり、防災訓練やイベントのサポート等を行っています。また、職員が講師となり、地域における防災意識向上のため、学校や企業、町内会など地域住民に向けた防災講習を無償で行っています。

 高知市地域防災推進課 088-823-9040


交通安全教育に係る支援について

幼稚園や保育園、小学校、中学校からの依頼を受けて、交通安全教育指導員が年齢に合わせた交通安全教室を行っています。

 高知市くらし・交通安全課 088-823-9487

町内会の活動について学ぶ講演会や交流会に係る支援について

高知市型共生社会の実現に向けて、会員相互の助け合い・支え合い活動を活性化し組織の再構築を図るハッピータウン事業を実現するとともに、町内会加入率100%を目指して活動しています。地域のイベント等に地区の役員が参加するなど、「共感と共汗」を掲げ活動しておりますので、ご相談いただければと考えております。

 高知市町内会連合会 088-824-6562



5

学びを深め続けるまち

アンケート調査や策定会議でみえたこと

策定会議では「もっと学びを深める取組が必要」「学習会を開催するのはどうか。」などの意見が挙がり、いつまでも学び続ける意思を高く持つことの大切さを感じました。

歴史や子どもたちの学習内容など、昔から現代までの様々な分野の勉強会を開催することで、どの分野にも精通した学びを深めることができます。

時代に合わせた学習会を開催し、誰一人取り残さない地域にしていきたいと思います。

取組内容

01 ▶ 様々な勉強会の開催

- ・ LINEなどのSNSの操作方法を学ぶスマートフォン勉強会を開催する。
- ・ 「すぐる」の活用方法の勉強会を開催する。
- ・ 江ノ口地域の歴史について学ぶ勉強会を開催する。
- ・ 子どもが「先生」で、大人が「生徒」の講演会を開催する。
- ・ 後継者や次世代を育成するための勉強会を開催する。


02 ▶ ホームページの有効活用

- ・ ホームページに各種団体の活動予定やイベント情報を掲載する。
- ・ ホームページを定期的に更新できる仕組みをつくる。


行政等のサポート

LINEなどのSNSの操作方法を学ぶスマートフォン勉強会に係る支援について

広聴広報課の事業「出前講座」には「スマホでLINE教室」があり、町内会等からの依頼で講座を実施しています。


 高知市広聴広報課 088-823-9446

地域間・世代間のデジタルデバインド対策として、デジタル機器に不慣れな方や高齢者に対して、身近な場所で何度でも相談ができ、スマホの操作や活用方法を教えることのできる人材を養成する支援を実施しています。


 高知県デジタル政策課 088-823-9773

江ノ口地域の歴史について学ぶ勉強会に係る支援について

寺田寅彦記念館及び大川筋武家屋敷資料館の公開を通じて、江ノ口地域の歴史を学ぶ機会の提供を行っています。

 高知市民権・文化財課 088-832-7277

オーテピア高知図書館「高知資料コーナー」にある本や本以外の地図・写真・古文書・絵図など高知県に関する多様な資料をご紹介します「出前講座」を実施しています。

 高知市教育委員会図書館・科学館課 088-823-4946

6

わくわく楽しい愛宕商店街

アンケート調査や策定会議でみえたこと

アンケートや策定会議で最も意見が多く出たのは、江ノ口のシンボルである「愛宕商店街」についての意見です。

人口減少や少子高齢化、地域産業へ従事する人の減少などを受け、全国的にも商店街は衰退傾向にあり、愛宕商店街も以前のような賑わいが少なくなっています。

地域のシンボルである愛宕商店街を活性化させ、江ノ口地域の活気を取り戻すためにも、愛宕商店街のことを知ってもらうことや、実際に足を運んでもらえるような活動をしていきたいと思えます。

愛宕商店街への熱い想いを胸に抱き、商店街がますます発展できるようにみんなで盛りあげていきたいと思えます。

取組内容

01 ▶ 商店街のブランド化

- ・ 愛宕商店街ブランドを立ち上げて普及する。

02 ▶ 愛宕商店街のマップづくり

- ・ 愛宕の飲食店の位置図や情報を記載したマップを作成する。


03 ▶ 金曜日と商店街の活動を盛り上げる

- ・ 飲食の出店として、キッチンカーをたくさん呼んで開催する。
- ・ 小学生の合唱など催しを実施する。

行政等のサポート

愛宕商店街ブランドの立ち上げに係る支援について


商店街振興組合や中小企業団体等に対する財政的支援として、商店街等の活性化に資すると認められる祭り、レクリエーション等の催物や展示会などの開催費用に係る支援をしています。

 高知市商業振興・外商支援課 088-823-9375

※令和7年4月1日から高知市商業振興課(088-823-9375)に名称変更

愛宕の飲食店の位置図や情報を記載したマップ作成に係る支援について

ほおっちょけん相談窓口(令和2年)の取組の中で、民生委員等の地域で相談対応をする人向けに「江ノ口地区ほおっちょけん情報」として地域情報を取りまとめたものを作成・配布しており、現在は更新に向けた作業に併せて情報をマップにして世帯に配布すると言った意見があり動いています。

 高知市社会福祉協議会 地域協働課 088-823-9515



Enokuchi

Enokuchi

Eno

kuchi

Enokuchi

資料編

Enokuchi

Enokuch

Enok

Enoku



コミュニティ計画について

高知市は1991年度（平成3年度）策定の「高知市総合計画1990」において、総合計画と相互に補完・連携する各地区の居住地域（コミュニティ）ごとのまちづくり計画を『コミュニティ計画』と位置づけ、市民と行政のパートナーシップのもと1993年度（平成5年度）から各地区において策定及び推進に取り組んできました。

各地区ではコミュニティ計画の策定に取り組む「コミュニティ計画策定市民会議」が順次設立され、これまでに1,200人を超える多くの市民が参加して、それぞれの計画案が作成されました。

計画案の市長への提言を受けて、本市では庁内横断組織であるコミュニティ計画策定委員会及び幹事会での調整等を行い、28地区において「コミュニティ計画」を行政計画として策定するとともに、計画を実践する市民主導の自主的組織として各地区で設立された「コミュニティ計画推進市民会議」が中心となって、約20年にわたり計画登載事業の推進に取り組んできました。

また、2003年度（平成15年度）に施行した「高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例」において『コミュニティ計画の策定と推進』を本市の役割と位置づけるとともに、条例に基づく諸制度を推進してきました。

一方、各地区のコミュニティ計画策定から長期間が経過し、登載事業の多くが既に実施済みであることや、市内約3分の1の地域では計画が未策定であること、計画を策定した当時とは社会情勢が大きく変化していること等から、コミュニティ計画についても、将来的な地域のまちづくりを持続可能なものとするために見直しの必要性が生じています。

▼（参考）これまでのコミュニティ計画の考え方

- ・ 市域全体を地域の視点で区分し、それぞれの地区において、土地利用のあり方や生活環境の保全・整備の課題等を検討する計画
- ・ 各々の居住地域（コミュニティ）で、そこに住む住民の参加と創造による住民自治をベースとし、相互理解と連帯のもと、人間性豊かな心のふれあう地域社会の形成を目指し策定する計画
- ・ 策定に当たっては、その方法や計画の内容は、各々の居住地域（コミュニティ）の特性に応じた多様なものとなる。

地域コミュニティ再構築事業の展開

本市では、2010年度（平成22年度）から「地域コミュニティの再構築」に取り組んでいます。

これは、少子化・高齢化や人口減少の進行により、地域活動の担い手不足や住民同士の関係の希薄化といった問題が顕著となってきているなか、将来的にも地域内で住民や団体、また事業者等が互いに支え合い、助け合えるような社会を作り、また、これからの地域課題の解決に向けて、地域と行政が手を携えて協力していこうというものです。

その中で、おおおね小学校区を範囲に、地域内で活動する個人、団体、事業者等がゆるやかにつながり、地域の現状や課題を共有するとともに、課題の解決に向けて連携・協力していくためのプラットフォームとして、各地域での「地域内連携協議会」の設立を提案しています。2024年（令和6年）3月時点で市内31小学校区（30団体）において設立された地域内連携協議会では、各分野で活動する地域団体が参画し、地域の特性を活かした活動に主体的に取り組んでいます。その一方で、地域のまちづくりの方向性を見据えて、計画性と実効性を持った活動の推進が求められています。



モデル地域におけるコミュニティ計画策定の方針

本市が設置する「高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例見守り委員会」において、2015年度（平成27年度）に今後のコミュニティ計画のあり方について議論された結果、市民と行政の協働の理念に基づき、地域の意見を踏まえてコミュニティ施策の再検討を行うことや、PDCAサイクル（Plan・計画 → Do・実行 → Check・評価 → Action・改善）による計画の検証を実施すること等について、2016年（平成28年）4月に同委員会から市長に対して提言がなされました。

提言を受けて、本市では、現行のコミュニティ計画の考え方を踏まえ、市民と行政の協働を基本として、次に掲げる「計画の構成」、「計画策定・推進の主体」、「計画期間」といった視点を中心に、今後策定するコミュニティ計画について検討を行うこととしました。そこで、これまでのコミュニティ計画未策定の「久重地域」と策定済みの「よこせと地域」をモデル地域に選定し、2017年度（平成29年度）に「久重のまちづくり計画2017-2021」、2018年度（平成30年度）に「よこせとコミュニティ計画2018-2022」が策定されました。この結果を踏まえて検証し、新たなコミュニティ計画についての考え方を以下のとおり整理しました。

住民主体で取り組めるソフト事業を中心とする

本市では、2003年度（平成15年度）に都市計画区域におけるハード面でのまちづくりの方針や具体的な取組を示した「都市計画マスタープラン」を策定。2013年度（平成25年度）には対象区域を都市計画区域外も含む全市域に拡大し、全地域の地域別構想も盛り込んだ内容としました。これまでのコミュニティ計画に登載していた比較的規模の大きなハード事業は、都市計画マスタープランに登載されているものになります。

こうしたことから、これまでのコミュニティ計画では、ハード・ソフトを問わず、その地域に関係する事業を網羅するものになっておりましたが、新たなコミュニティ計画では、特に地域に関わる防災、福祉、教育、コミュニティ等の分野で、地域の方々の主体的な取組が想定されるソフト事業や、地域コミュニティに関係する比較的規模の小さいハード事業を中心とした計画に見直すこととしました。

計画策定・推進の主体は地域内連携協議会

新たなコミュニティ計画の策定・推進の主体は、地域内連携協議会としています。

これは、各地域で設立された地域内連携協議会において、コミュニティ計画推進市民会議をはじめとする地域の多くの団体が参画し、様々な視点から地域のまちづくりについて自由な意見が交わされる等、まちづくりに関わる中心的な団体となってきていることや、また、地域内連携協議会に参画する各種団体の連携・協力のもと、各地域の特性に応じた活動が実施されていることから、その活動に計画性と実効性を持たせ、将来にわたって持続可能なものとしていきたいと考えているものです。

本市では、地域内連携協議会の運営や活動を支援するため、会議での情報提供等を行う地域活動応援隊職員の配置による人的支援や、地域内連携協議会活動促進事業費補助金等による財政的支援を実施しています。また、高知市地域共生社会推進本部を中心に各担当部署との庁内横断的な連携・調整等を行うことで、市民と行政の協働によるまちづくりを目指しています。



計画期間は5年間

新たなコミュニティ計画では、策定や推進に関わる主体が目標の達成に向けて一定の見通しを立てやすくするように、計画期間をおおむね5年間に設定しています。

一方で、将来に向けて持続可能なまちづくりの推進を実現するためには、単年度ごとの活動を通して計画性を持って取り組むことも必要であることから、PDCAサイクルの考え方に沿って進捗状況を確認しながら、随時、計画内容の見直しや更新を行っていきます。

地域においても、それぞれの活動状況等を把握しながら、各年度の事業計画を検討し、実施につなげていくことが望ましいと考えています。

コミュニティ計画と総合計画や各種関連計画との関係

「高知市総合計画1990」において、総合計画と相互補完する行政計画として位置づけたコミュニティ計画は、「2011高知市総合計画後期基本計画（計画期間：2021年度〈令和3年度〉から2030年度〈令和12年度〉）」においても、補完・連携するものとしています。

現在、本市を取り巻く状況の変化の中で、各部門別行政計画等との連携を通じた行政内部での部局横断的な対応が求められており、コミュニティ計画が地域における取組と行政の取組について、防災や福祉等の分野の枠を越えて機能的に結びつける役割を担うことが期待されており、その必要性は今後も高まっていくものと考えています。



計画策定の経過

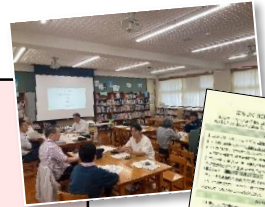
第1期江ノ口地域コミュニティ計画のあゆみ

江ノ口地域では、これまで江ノ口地域の住民と行政による協働でコミュニティ計画策定会議に取り組んできました。これまでの策定会議の経過について紹介します。

詳細は、報告書を発行しておりますので、二次元コードからご確認ください。

1 アンケート調査

調査期間 令和5年12月1日（金）から令和5年12月20日（水）まで
対 象 住民基本台帳から無作為抽出した1,200人（13歳以上）
回 収 率 25.4%



2 第1回策定会議

開 催 日 令和6年9月19日（木）午後6時30分から
内 容 江ノ口小学校区の基礎情報の共有
アンケート調査結果の解説
地域の将来像の検討



3 第2回策定会議

開 催 日 令和6年11月14日（木）午後6時30分から
内 容 具体的な事業の検討



4 第3回策定会議

開 催 日 令和7年1月30日（木）午後6時30分から
内 容 計画冊子案の確認・意見出し



5 執行部会（最終確認）

開 催 日 令和7年2月19日（水）午後6時30分から
内 容 計画冊子案の確認



6 市長報告会

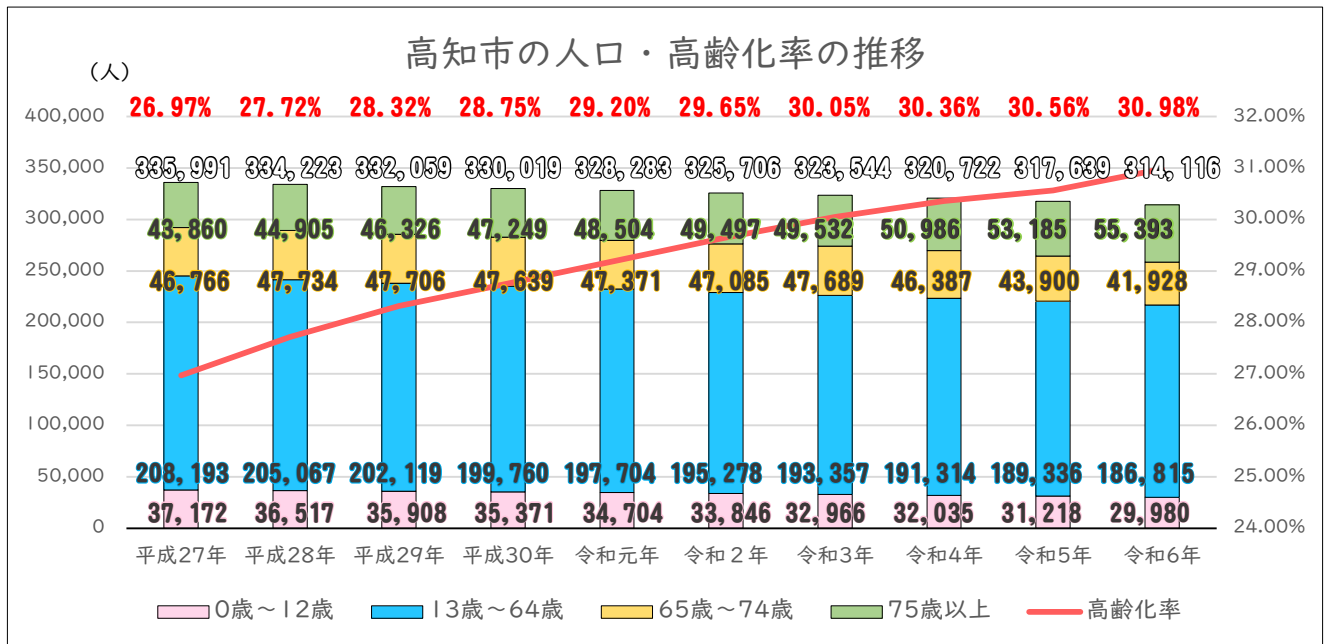
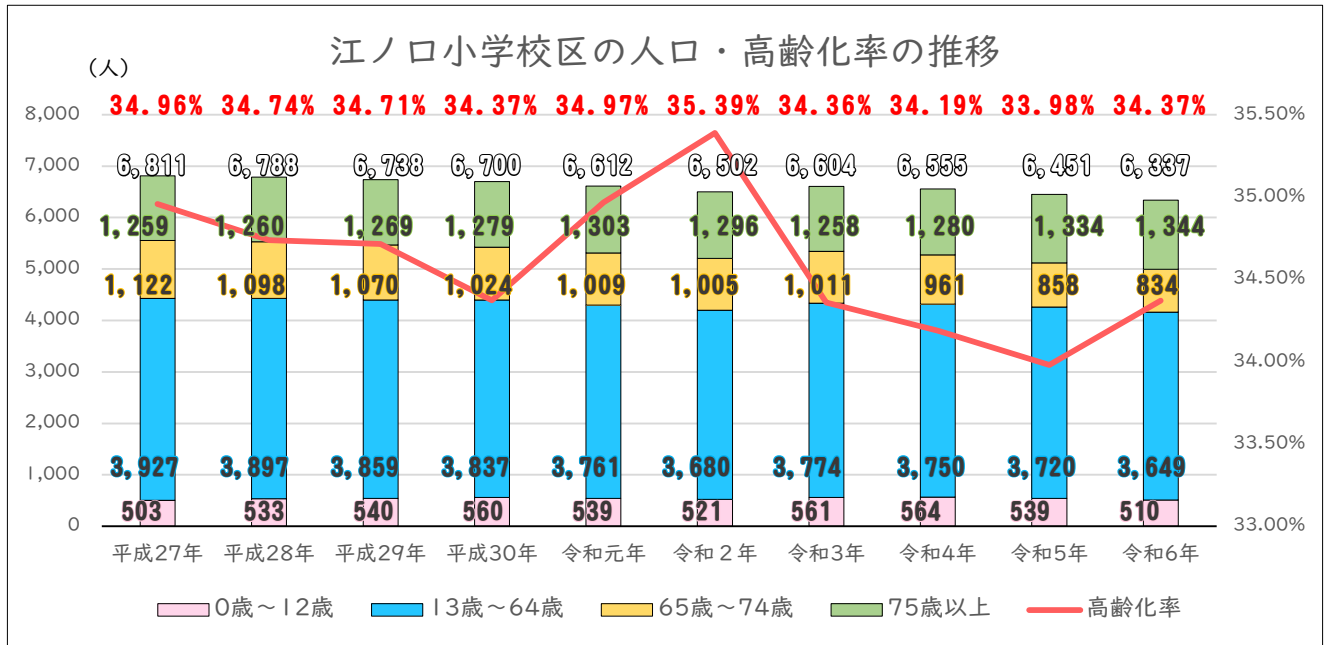
開 催 日 令和7年2月27日（木）午後6時30分から
内 容 第1期江ノ口地域コミュニティ計画案の報告



地域の現状・アンケート調査結果

統計情報

江ノ口小学校区と高知市の統計情報は以下のグラフのとおりです。

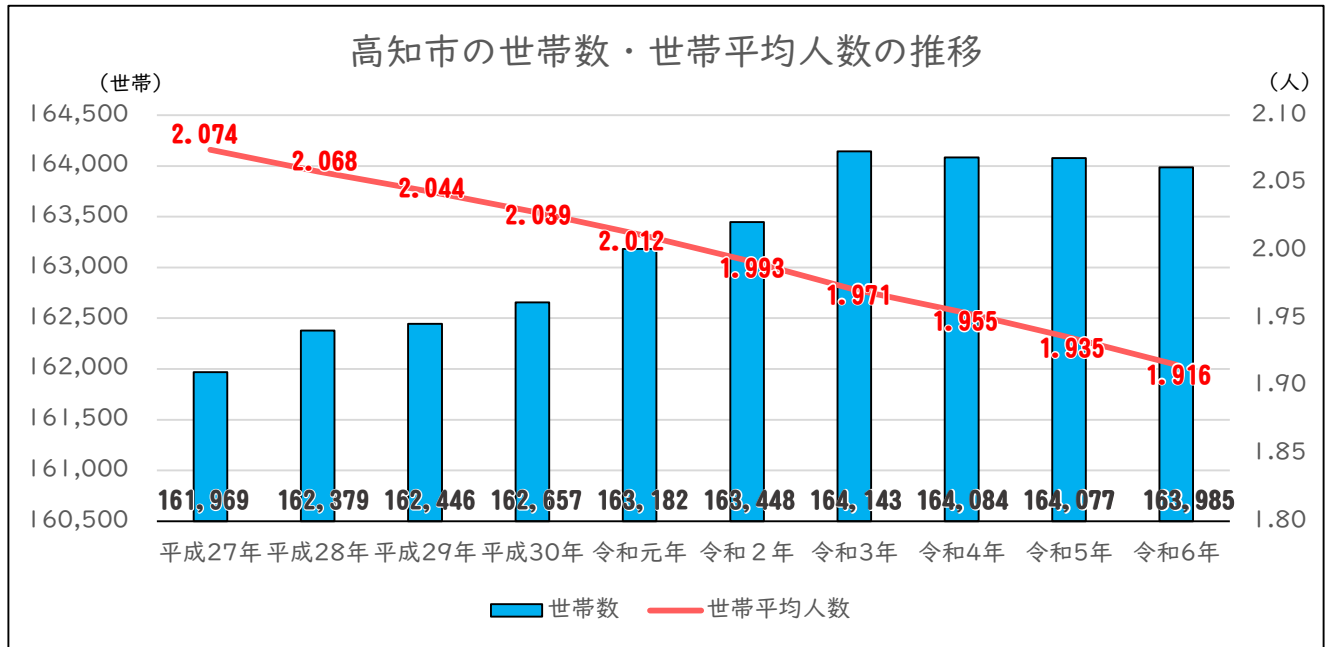
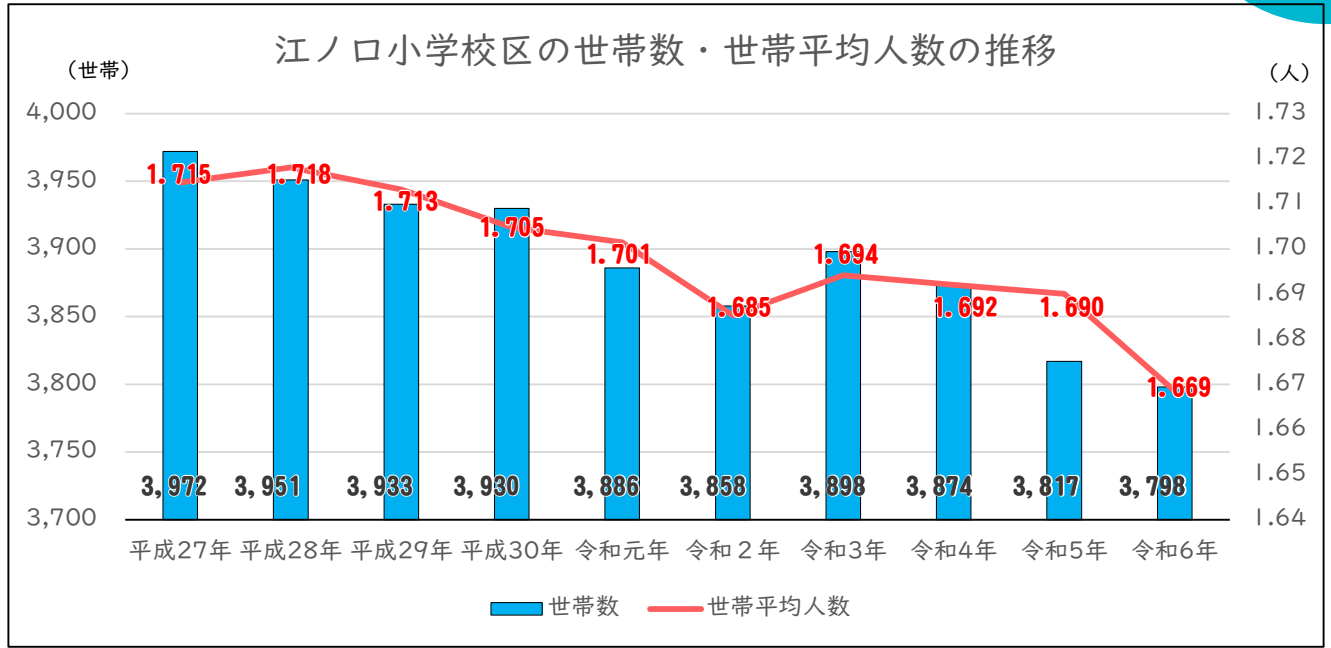


江ノ口小学校区と高知市の人口推移から、全体として人口減少が進んでいる一方で、75歳以上の方が増加していることがわかります。

また、高齢化率を比較すると高知市は右肩上がりに増加していますが、江ノ口小学校区は令和2年をピークに減少していることが読み取れます。

※ 年齢算出基準日を4月1日として統計しています。

地域の現状・アンケート調査結果



江ノ口小学校区と高知市の家帯数の推移を比較すると、高知市が増加傾向にあることに比べ、江ノ口小学校区は減少傾向にあることがわかります。

また、江ノ口小学校区の家帯平均人数は、高知市と比べて10年前（平成27年）から低く、高知市の中でも単身世帯が多い地域であるということが読み取れます。

家帯平均人数と人口推移の双方からグラフを読み取ると、家帯平均人数は減少しているが、高齢化率は上昇していることから、高知市も江ノ口小学校区も独居高齢者（65歳以上の一人暮らし）が増加していると考えられます。

※ 年齢算出基準日を4月1日として統計しています。

地域の現状・アンケート調査結果(一部抜粋)

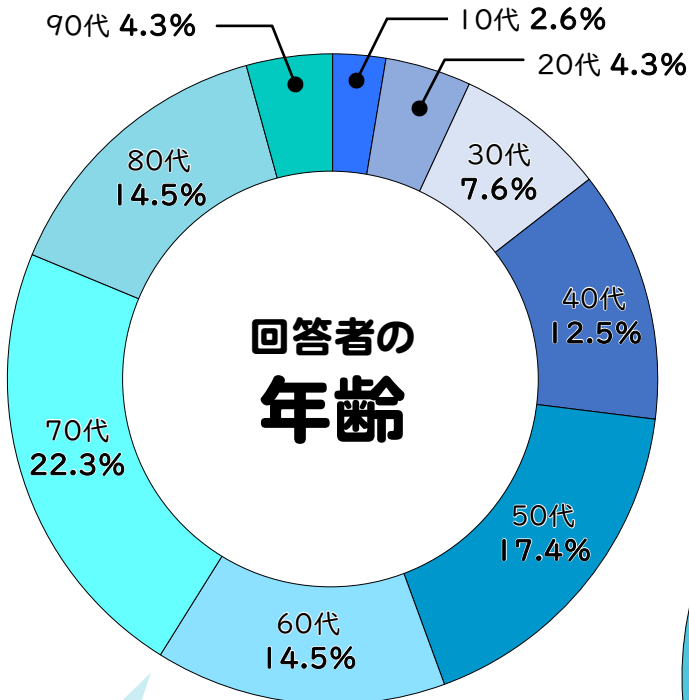
アンケート調査結果

第1期江ノロ地域コミュニティ計画の策定に当たり、地域住民の皆様のニーズや課題等について意見を収集するために、江ノロ小学校区にお住まいの13歳以上の方を対象としたアンケート調査を実施しました。

● アンケート調査の概要

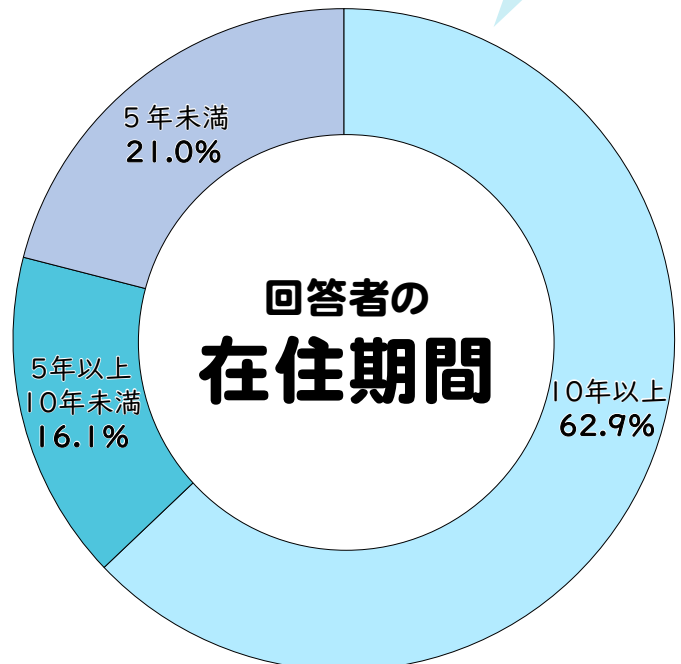
- | | | |
|---|-------|---------------------------------------|
| 1 | 調査地域 | 江ノロ小学校区 |
| 2 | 調査対象者 | 上記小学校区に在住する13歳以上の住民のうち、1,200人をランダムで抽出 |
| 3 | 回収結果 | 305件 |
| 4 | 回収率 | 25.4% |
| 5 | 抽出方法 | 住民基本台帳から抽出 |
| 6 | 調査期間 | 令和5年12月1日(金)から令和5年12月20日(水)まで |
| 7 | 調査方法 | アンケート方式(郵送・オンラインによる回答) |

Q1 アンケート調査回答者の年齢・在中期間



「10年以上」が最も多く、「5年以上10年未満」が一番少ない結果となりました。

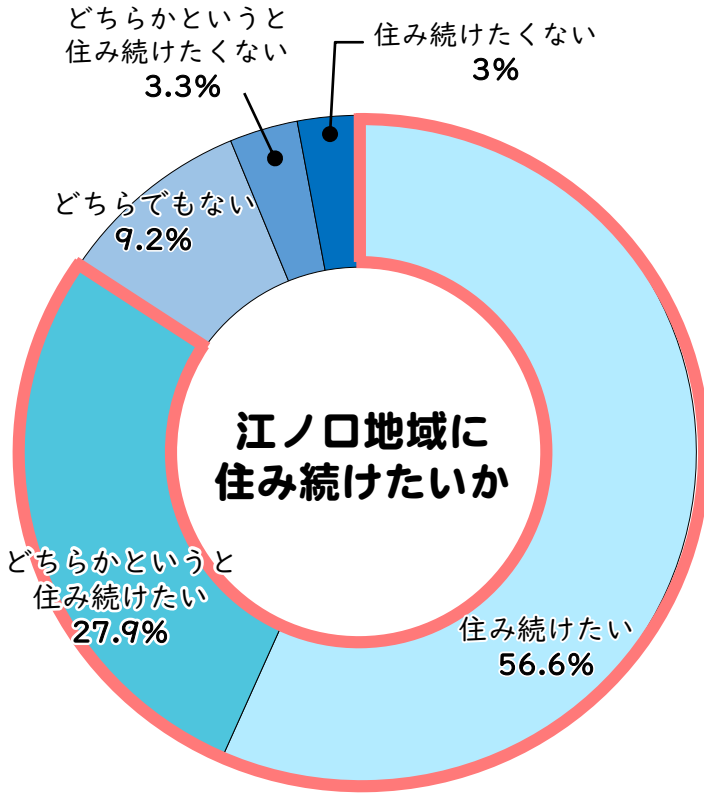
江ノロ地域は高知市内の中心に位置するため、転入される人が多くいるのではないかと予想されます。



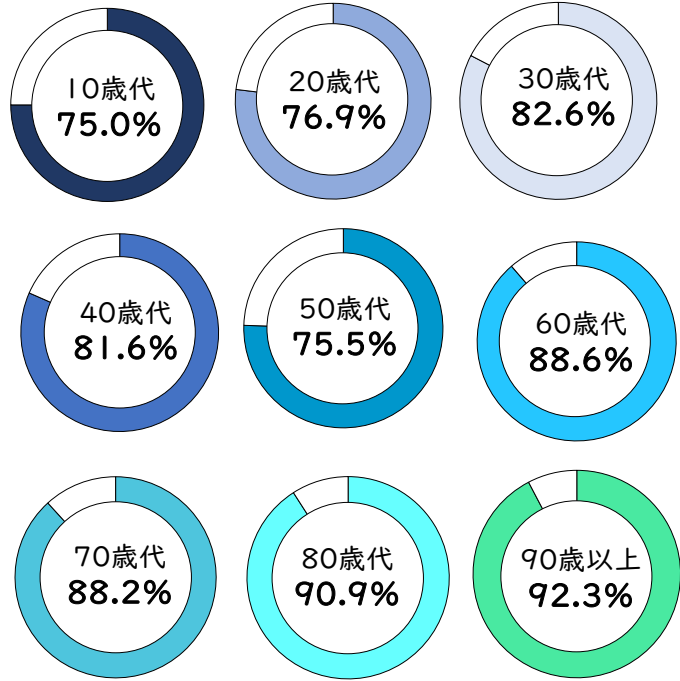
アンケート調査にご協力いただいた年代は「70歳代」が最も高く、次いで「50歳代」「60歳代」「80歳代」となりました。江ノロ地域全体の割合(年齢別)に近い回答数になったと思われます。

地域の現状・アンケート調査結果

Q2 江ノ口地域に住み続けたいか

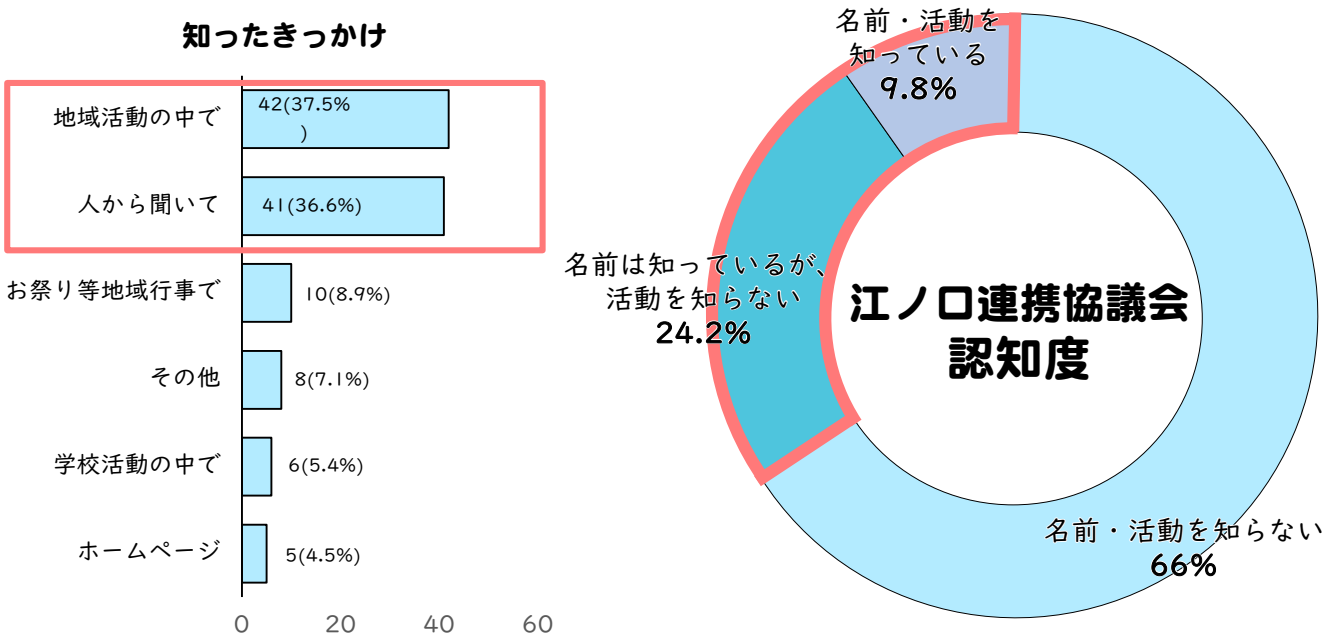


「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた年代別の割合



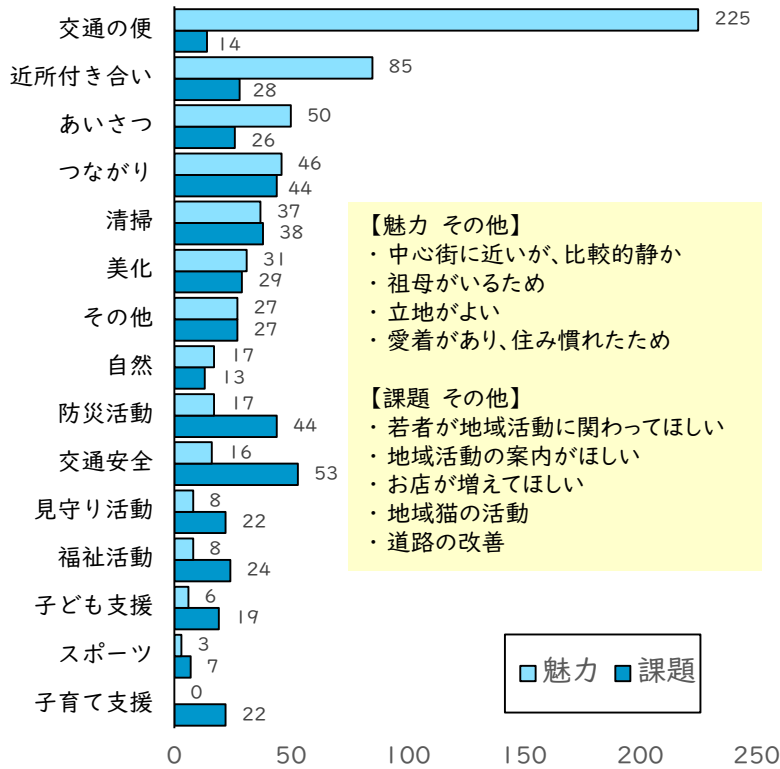
年代別にみると、回答率は「10歳代・50歳代・20歳代」が比較的低い傾向にあり、入学・就職・定年などを控えている人は、今後も江ノ口地域に住み続けるかどうかを悩んでいるのではないかと思います。

Q3 江ノ口連携協議会（愛称：江ノ口plus）の認知度



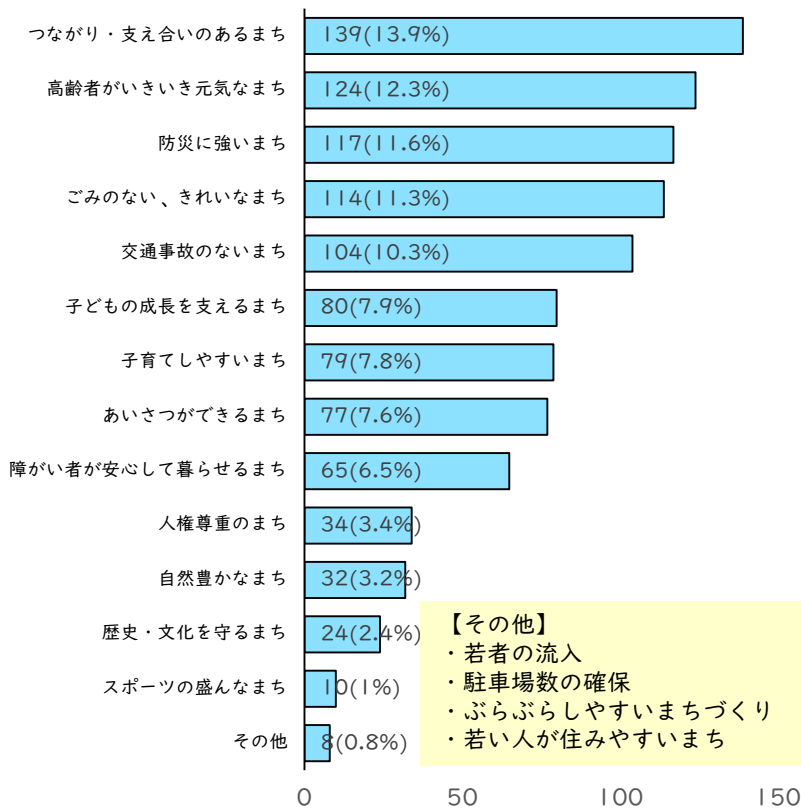
地域の現状・アンケート調査結果

Q4 江ノ口地域の魅力と課題



項目	魅力	課題
交通の便	1位	13位
近所付き合い	2位	6位
あいさつ	3位	8位
つながり	4位	2位(同票)
清掃	5位	4位
美化	6位	5位
その他	7位	7位
自然	8位(同票)	14位
防災活動	8位(同票)	2位(同票)
交通安全	10位	1位
見守り活動	11位(同票)	10位(同票)
福祉活動	11位(同票)	9位
子ども支援	13位	12位
スポーツ	14位	15位
子育て支援	15位	10位

Q5 江ノ口地域が将来どんな地域になってほしいか



項目	順位
つながり・支え合いのあるまち	1位
高齢者がいきいき元気なまち	2位
防災に強いまち	3位
ごみのない、きれいなまち	4位
交通事故のないまち	5位
子どもの成長を支えるまち	6位
子育てしやすいまち	7位
あいさつができるまち	8位
障がい者が安心して暮らせるまち	9位
人権尊重のまち	10位
自然豊かなまち	11位
歴史・文化を守るまち	12位
スポーツの盛んなまち	13位
その他	14位

地域の現状・アンケート調査結果

Q6 地域の魅力だと感じるどころ (自由記述)

- ・江ノ口地域に関連する組織が10団体以上存在し、この地区を充実させてくれています。
- ・地区運動会や江ノ口まつりなど、年1回の行事にも楽しみにして参加している人が多いです。
- ・いきいき百歳体操など、各町内会また各団体で活発に開催されており集いの場になっています。
- ・町内会長さんや民生委員さんなどが、地域と学校や保育・幼稚園の橋渡しをしてくれます。
- ・公民館などの施設で季節折々のイベントが開催されており、地域で異年齢交流ができています。
- ・一人ひとりが、つながりを深めるために工夫していて、人々とのつながりが生まれています。
- ・それぞれの団体に長く関わっている方々があり、各団体の交流がスムーズです。
- ・町内のごみステーションでの清掃活動や地元の相模公園の清掃、花壇の植栽活動、不燃物（毎月）の見回り活動に積極的に参加してくれる人が町内に多いです。
- ・河川の清掃や公園の清掃、敬老の品の配布、町内会の総会が交流の場となっています。
- ・伝統行事を通じて、歴史や文化を若い世代に伝え、新たな発見や出会いがたくさんあります。
- ・環境はその趣を残しつつ、立体交差、J Rの高架、道路網の拡張、整備等地域の変貌を遂げていて、住みやすい地域です。
- ・当地域からも歴史に残る貢献をされた方や現在も社会で活躍をされている方が多数おられます。
- ・江ノ口地区交通安全会議の交通安全に関する取組が、地区の意識の高まりを図っており、組織的な運動を展開してくれています。
- ・暴力等の排除では、組事務所の撤去などの実績が多数あり対策は県下でも抜群です。
- ・社会福祉協議会や民生委員他、連携・協力して住みやすいまちにしてくれています。
- ・江ノ口地域のために、日頃からご活躍いただき、本当にありがとうございます。
- ・皆様のご活躍のおかげで充実に過ごせています。皆様には頭が上がりません。

Q7 江ノ口地域の未来に対してどう思っているか (自由記述)

- ・少子高齢化が進んでおり、将来は町内会を含む地域団体の存続が心配です。
- ・若い方々の活躍が期待されていますが、少ないので若い人材をどう迎え入れるかが重要です。
- ・人口減少と高齢化は防ぎようのない真刻な問題のため、若者を中心に地域に関わり、課題解決に取り組む人の拡大を図ることが必要です。
- ・若い世代（子育て世代や学生）へつながる・つなげることが重要だと思いますので、親子で参加出来る活動を増やせば良いなあ…と思います。
- ・少子高齢化や人口減少による過疎化を念頭に地域を担う若手人材の育成をする必要があります。
- ・どうにかすればどうにかかなりそうだが、人が減っていくなかで「どうにかしないと」と思う人もいなくなりつつあります。
- ・災害時に町内で協力出来るまちづくりをしたら交流もうまく出来るのではないかと思います。
- ・「江ノ口の明日を考える会」が消滅して、地域の要望を行政に伝える力が弱くなったと思います。
- ・「みらいを拓く」江ノ口の子が、江ノ口地区の未来も担っていただけたらなあと思います。
- ・未来を担う青少年の減少は厳しい実情にあるが、この地域に住み続けたいと思う住民の意識は、高齢者から若者まで圧倒的に多く希望が持てると思います。
- ・江ノ口地区を良くしようと奮闘されている方々が大勢いらっしゃるところが魅力であり、住民のご家族皆さまを大事に考えていることが伝わります。



おわりに

参画者紹介



門田 浩人
江ノ口連携協議会



博田 康明
江ノ口小学校



矢間 慎一
江ノ口人権推進委員会



岡村 康良
江ノ口暴力追放推進委員会



松田 誠祐
江ノ口連携協議会



岡崎 真理子
江ノ口小学校



澁谷 三鶴
江ノ口社会福祉協議会



賀田 義幸
江ノ口社会福祉協議会



森田 英稔
江ノ口校区青少年育成協議会



谷村 佳世
江ノ口連携協議会



岡部 千恵子
江ノ口交通安全会議



小野川 岳仁
江ノ口体育会



伊与田 貴章
江ノ口小学校PTA



嶋本 あけみ
江ノ口社会福祉協議会



小野 大典
愛宕商店街振興組合連合会



山崎 一則
中水道東町内会

参画者紹介



安岡 和弘
愛宕町1丁目町内会



野村 洋一
愛宕町2丁目東町内会



前田 淳二郎
愛宕町3丁目町内会



岡部 忠孝
大川筋2丁目西町内会



清岡 隆夫
昭和町西町内会



橋本 大輔
高知市消防団江ノ口分団



齊木 美穂
江ノ口西民生委員児童委員協議会



中内 啓二
栄田町公民館



吉見 啓佑
太平洋学園高等学校



松崎 梨沙
高知市社会福祉協議会



田村 良子
南街・北街・江ノ口
地域包括支援センター



岡崎 玲佳
南街・北街・江ノ口
地域包括支援センター



松原 亜希
高知市地域防災推進課



岡崎 めぐみ
地域活動応援隊



小松 永敏
地域活動応援隊



広瀬 柳一
地域活動応援隊

地域の活動紹介(一部抜粋)



江ノ口まつり



江ノ口校区区民運動会

みんなあ愛宕にきてや!
多世代交流の場にもつながる!



よさこい祭り 愛宕競演場



江ノ口コミュニティセンター美術芸能祭
総合美術展・芸能発表会



江ノ口社会福祉協議会 ふれあいの会



江ノ口地区ほおっちょけんネットワーク会議

地域の活動紹介(一部抜粋)



愛宕商店街でハロウィンパレード



認知症カフェ よしだサロン



江ノ口地区こそサポまつり



いきいき百歳体操
会場 にこにこ広場あたご



防災訓練・防災授業



小学校の地域学習

あとがき

参画者の皆様から、「江ノ口地域への想い」を一言ずついただきました。

江ノ口地区を盛り上げて
ひろめ平場に多くホットスポットを！

子ども音でくわいしん、
歌は江ノ口童歌をうた
えんせん。 つながりが深まる地域づくり

移り住んで来た人達も、おどろきおかしさを
感じるまちです。そう、まさに摩訶不思議！

地域の人との交流を
大切にする。

ワイワイガヤガヤ
子ども おとなも
みんな笑顔の
面白い人・物・何かがある
江ノ口に
みんなあ 来てね
待ちゆうきね

玉華園の三品セット
がまた食べた...

便利で生活しやすいまちだと思います。
元気な個性のあるおじいさん、おばあさんがたくさんいるところを
魅力だと感じます。これからますます発展しますように！



小さい子どもから、年配の方まで
にこにこ笑顔で 集える江ノ口地区を
目指したいです。

継続は力なり

尾根市一帯平化が完了している。
子供名産(ふれあり食堂)
柳園マリマ園の改修(遊路)の南側に中野
1211(遊園) 両両ちよようで大きな
連絡路と12協力したい。

安全・安心なまちづくりがガンバろう
思われ!!を大切に!!

最初の一歩を踏み出す

これからも江ノ口地区の消防機関として頑張っていきます。
よろしくお願ひします。

愛宕商店街を中心として活動する
体制を作る必要がある。

地区担当として皆様のご意見を大切にしてまいります！





**高知市コミュニティ計画
第1期江ノロ地域コミュニティ計画
(2025-2029)**

**編集・発行 2025年(令和7年)3月
江ノロ連携協議会(愛称:江ノロplus)
高知市市民協働部地域コミュニティ推進課**